



いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新に向けた取組みについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

事業メニュー

〈起業・新事業活動支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

【対象者】・創業する者

- ・中小企業者(法人又は個人事業者)
- ・特定非営利活動法人(NPO)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

①地域資源活用枠

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品又はその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

【助成率】1/2

(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

【助成限度額】200万円【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

②起業・経営革新枠

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業又は経営革新計画の承認を受けた事業

【助成率】1/2 【助成限度額】500万円

【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

〈中心市街地活性化支援事業〉

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

【対象者】・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者

- ・小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者(法人又は個人事業者)
- ・商工会、商工会議所
- ・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO)

【助成率】9/10

(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)の算式によって算出された額の9/10」)

【助成限度額】200万円

【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

第4回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

第4回いわて希望ファンド地域活性化事業には、18件の申し込みがありました。

その内訳は、起業・新事業活動支援事業の地域資源活用枠が4件、起業・経営革新枠9件、中心市街地活性化支援事業が3件、支援機関事業2件でした。

5月13日に開催された外部委員における審査会において、下記14件の事業が採択されました。

第5回公募のご活用・ご検討をお願いします。

【採択案件】

No	事業種類	企業名	所在地	事業概要
1	地域資源	岩手県酒造組合	盛岡市	県産オリジナル吟醸酒の首都圏における販路拡大キャンペーンの実施
2		株式会社夢実堂	二戸市	農業者ネットワークの構築による岩手県産農産物の流通拡大
3		有限会社早野商店	岩泉町	食用ほおずきの栽培委託と加工・販売
4	経営革新	株式会社リエゾンパブリッシング	盛岡市	自費出版者向けコミュニティーポータルサイトを活用した自費出版事業
5		株式会社アイカムス・ラボ	盛岡市	不思議遊星歯車を用いたマイクロシリンジの開発と事業化
6		株式会社奈良屋	一関市	「見えるリフォーム」を実行し、ホームドクターとして住まいに関する安心を提供
7		株式会社アリメント	矢巾町	食肉製品の新品開発及び液体凍結機を利用した商品提供
8	起業	浄法寺漆産業	盛岡市	「浄法寺漆」の付加価値化(精製加工、販売)と市場開拓
9		株式会社心食飲	北上市	岩手食製品プロデュース会社の設立
10	中心市街地活性化	まちの編集室 有限責任事業組合	滝沢村	いわての「ものづくり」「まちの文化」などに特化した提案型ムック誌出版と連動した販売展開事業
11		株式会社邑計画事務所	盛岡市	街なかの馬車運行による中心街地の新たな魅力創出と来街者増大～幸せ運ぶ馬車～
12		NPO法人レスパイトハウス・ハンズ	一関市	空き店舗を利用したソーシャルビジネスによる中心市街地多目的スペースの開設
13	支援機関	岩手県中小企業団体中央会	盛岡市	観光産業クラスター形成による提案型観光の強化・促進について
14		財団法人いわて産業振興センター	盛岡市	①助成先に対するソフト支援事業 ②起業・新事業展開意欲醸成事業 ③中小企業等試験販売支援事業

商工連携ファンド公募中です!!

募中
1(火)
で

いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携（農商工等連携）を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業者又は経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体を支援します。

対象者

- ・ 県内の中小企業者と農林漁業者の連携体
→農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体（農協、森林組合、漁協、連合会も可）
- ・ 中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体
注）申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・補助金の受領等を行う

助成対象経費

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等

助成率

1/2以内(県北・沿岸地区は2/3以内)

助成限度額

500万円

助成期間

最長3年以内(原則単年度)

農商工連携の事例

イサダ煎餅の事例

中小企業者(煎餅メーカー)

イサダには、レチノール(ビタミンA)、カルシウム、たんぱく質、マグネシウムなどが多く含まれており、イサダの食味を引き出した新商品の開発を行う

農林漁業者(漁業者)

これまで主に養殖魚の餌として用いられていたイサダを加工食品に用いるため、イサダの鮮度管理、衛生管理方法の確立を行う



連携

新商品開発!

それぞれが工夫を凝らした取組み!

農商工連携の基本的要件

【1.有機的連携】 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること

- 「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します
- 「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的にかつ有効に用いられていることを指します。

【2.新商品の開発等】 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産又は需要の開拓が実現すること

- 「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品又は役務であることが必要である。

第1回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

いわて農商工連携ファンド地域活性化事業の第1回公募では5件の申し込みがありました。その内訳は、企業・新事業活動支援事業枠が3件、支援機関による支援事業が2件でした。5月13日開催された外部委員における審査委員会において、下記4件の事業が採択されました。

【採択案件】

No	事業種類	代表企業	連携企業等	所在地	事業内容
1	起業・新事業活動等	株式会社三研ソイル	八幡平市北村宮農組	八幡平市	土壌に最適な有機質肥料の開発製造と有機質肥料を活用した農産物の生産
2		株式会社夢実堂	株式会社夢実のファーム	二戸市	ベビーリーフの生産拡大と高機能性野菜(グレートベビーリーフ)開発による新市場の創造
3	支援機関	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	-	盛岡市	現場展開型農商工連携商品戦略個別セミナーの実施
4		財団法人いわて産業振興センター	-	盛岡市	助成先に対するソフト支援事業

手続きの流れ

- ①公募→②応募(助成金交付要望書提出)→③事業計画ヒアリング→④審査委員会(対象事業の決定)→⑤採択通知→⑥助成金交付申請書提出→⑦助成金交付決定→⑧交付決定通知→⑨事業実施(着手)→⑩フォローアップ→⑪実施事業の確認→⑫助成金の支払い(※原則事業完了後の精算払い)→⑬実施事業の評価

お問い合わせ先

(財)いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ
 いわて希望ファンド 担当/菊池修二
 いわて農商工連携ファンド 担当/漆田英一
 TEL.019-631-3827 FAX.019-631-3830 E-mail:joho@joho-iwate.or.jp